

## 事業計画書(その 1)

<p>団体の目的 * 定款, 規約, 会則等に定めている目的を, そのまま転記してください。</p> <p>地域住民がともに参加できるスポーツを通じて、心身ともに健やかな生涯を送ることができる地域社会の形成に寄与することを目的とする。</p>
<p>事業分野</p> <p>保健, 医療又は福祉の増進      社会教育の推進      まちづくりの推進      観光の振興      農山漁村又は中山間地域の振興      学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興      環境の保全      災害救援      地域安全      人権の擁護又は平和の推進      国際協力      男女共同参画社会の形成の促進      子どもの健全育成      情報化社会の発展      科学技術及び学術の推進      経済活動の活性化      職業能力の開発及び雇用機会の創出      消費者保護      団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助</p>
<p>事業の概要 * 事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>障がいのある人と健常者、特に、高齢者や子供が同じコートで、同じルールで、スポーツを楽しむイベントを通じて、三世代の交流を図るとともに、このようなスポーツのあることを市民に周知すること。</p>
<p>社会的背景と解決しなければならない課題</p> <p>* 提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。</p> <p>平成 23 年 6 月スポーツ基本法が制定されました。その前文には、『スポーツは世界共通の人類文化である。』そして、『スポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で、日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。』とされている。</p> <p>また、第 2 条(基本理念)5 に、『スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。』と規定されている。</p> <p>このような国の方針に則り、倉敷市の障害者のスポーツの課題に取り組みたいと考え、『ハートフルスポ～ツの集い』を企画しました。</p> <p>この集いは、いわゆる障害者スポーツのみでなく、障害の程度に応じたスポーツが多くあることを周知し、障害者の社会参加をバックアップすることです。</p> <p>障がいのある人が健常者と 50 : 50 で行うことのできるスポーツの紹介      障害者のスポーツ活動の多様化      子供が障害者とふれ合うことにより障害者を理解する心を育む      元気老人の増加と老人の生きがいづくり</p>
<p>受益者の範囲 * 提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。</p> <p>障がいのある人(視覚障害者には対応できない。但し、軽度は可)、高齢者、子供を中心に市民      ボランティア活動をする人(中高生の夏ボラを受け入れている)      障害者関係団体・施設及び障害者のお世話をする人。</p>

**事業の成果** \* の課題に対して、事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

**【短期的成果】**

障害者の誰もがスポーツをできる喜びを味わうことができる。

そして、障害者の日常スポーツ活動につながる。

障害者のスポーツのバリエーションが広がる

障害者が健常者と対等にスポーツすることで、自信を持って活動できる。

そのことが生きがいづくりにつながる。

子供が抵抗感なく障害者と向き合うことができる。

高齢者に優しいスポーツを提供することで、高齢者スポーツのバリエーションが広がり、高齢者スポーツ人口の増加につながる = 元気老人が増加

高齢者が指導的立場に立って、障害者・子どもとスポーツをすることで、高齢者の生きがいとなる

三世代が交流できる。

また、三世代が競技面では50：50で交流できる、と同時に、お互いの弱いところをカバーすることで真の三世代交流が可能となる

昨年度実績より障害者の参加が20%アップを目指す。

また、5名程度の家庭にいる障害者の参加を目指す。(過去2名程度)

**【長期的成果】**

障害者イベントの拡充とスポーツ環境の変化。

障害者スポーツセンターの必要性の認識

子供たちが障害者を理解

高齢者が自分に合ったスポーツを見出す

倉敷市が主催する障害者のスポーツ・レクリエーションの集いへの発展

**事業の目標**

\* の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

倉敷市内の福祉施設に障害者に適したスポーツの用具の整備と指導者が輩出される。

(クラブがアフターフォロー)

健常者と障害者が共に競い合う場が生まれる = 障害者の自信を醸成

総合型地域スポーツクラブが中学校単位に設立され、障害者が健常者とともにスポーツできる環境整備

子供が成人して、障害者問題に取り組む人が生まれる

健やかに老いる社会を実現し、健康保険の利用が少なくなる

三世代が交流することで家族の重要性が確認できる

倉敷市主導の障害者と健常者がともに参加し楽しめるイベントの開催、また、健常者と障害者が共に競い合うスポーツ大会の開催

障害者の利用が優先されるスポーツ施設が設置され、一歩進んで、障害者のためのスポーツ施設の建設

このような倉敷市の取り組みが全国に波及し日本が障害者に優しい社会となる。

## 事業計画書(その 2)

## 事業の詳細

\*実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

## 【実施時期】

7月31日、8月7日、16日、21日

9月の平日午後 = 就労支援 B 型施設ぽけっと利用者中心

1回(未定)は集いの趣旨を具現化したカローリングの親善交流大会を開催。

## 【場 所】

くらしき健康福祉プラザ体育館

## 【対象者】

障害者(視覚障害者を除く、但し、軽度の方は可)、高齢者、子どもを含む市民  
障害者施設・福祉関係団体職員

## 【内 容】

障害者や高齢者、子どもなどいわゆるスポーツ弱者を対象に参加者が一緒に楽しめるスポーツを行う。

行う種目はカローリング、シャフルボード、スマイルボーリング、クロリティー、  
スカットボール、デッキスティックゲーム、キャッチボール、スイートテニス、  
ラダーゲッター、室内クップ、室内ペタンク、ディスコン、ヒューストン、  
空き缶ボーリング、ストラックアウト、アップダウン、マンカラなどのうち参加者に適した種目

1回に6~8種目を準備、参加者のだれもができるバリエーションを整える。

チーム競技は障害者と健常者でチームを構成して対戦する。

各種目にはクラブのスタッフが付きルールや試合の進め方を指導する。

障害者施設・福祉関係団体職員は各自の施設。団体に適した種目探すと同時に、  
会場運営や方法を取得する。

## 【特 徴】

スポーツの練習の場ではなく、みんなで試合を体験する。

健常者と障害者が50:50で試合を体験する。

健常者と障害者でチームを構成する。

ルール重視ではなく、人にルールを合わせる。(段階的に進める。)

障害者・高齢者が自分に適したスポーツを見つけることができる。

障害者がスポーツをした喜びを覚えると同時に、体を動かすことでストレスの発散はできる。

子供たちの障害者を見る目の変化することを実感できる。

高齢者は障害者をお世話することで充実感が増す。

## 【重点事項】

会場の一体感を演出する。

スタッフは障害者・子ども・高齢者が交流を図るよう会場を運営する。

スタッフ全員が常に優しい心遣いと事故に目を配る。(習慣が身につく。)

スポーツの楽しさ(体を動かすことの楽しさ)を感じていただくと同時にスポーツをする習慣を身に付けていただく。

賞状を出すことで参加者をねぎらい、意欲を呼び起こす。

受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

\*参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

\* 「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

社会通念上、障害者、高齢者、子どもを対象とした多くのイベントでは参加料を徴収していません。

我がクラブではメセナ事業として、いわゆるスポーツ弱者を対象としたイベントを設立時より開催しております。

毎日スポーツのできることに感謝し、社会への恩返しとしてスポーツボランティア活動をクラブ活動の一つと位置付けています。

以上のような考えに立ち当該イベントも参加料を徴収いたしません。

スタッフはイベントの成功による充実感・満足感・達成感が報酬と考えて活動しています。

### 【カローリング親善交流大会】

参加料を徴収する。(1名500円)

#### 参加料徴収の理由

賞状・参加賞・賞品を出す。

消耗品等の経費が必要(ラインテープ、スコアカード、集計表、チラシ、ポスターなど)

試合に参加できるレベルの人を対象。

初めての人でも試合前の15分程度の講習でルールは理解できる。

#### 試合形式

チームは初心者・経験者(スタッフ)で構成する。

車いすの人も補助具を用意

#### 大会の意義

競技会に参加したことは障害者にとって大きな励みとなる。

表彰されることは障害者にとって大変うれしいことである。

健常者と障害者が同じコートで同じルールで協議することの意義は想像以上に大きい。

参加料を払って大会に出ることの満足度は大きい。

## 事業計画書(その 3)

事業の見通し \* 2 年後, 3 年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。

国が障害者のスポーツに取り組む姿勢を明確にしたのは平成 23 年 6 月のスポーツ基本法の制定からである。我がクラブはそれ以前より障害者のスポーツに取り組んできたが、行政の理解は乏しく大きな進展は見せていない。

文部科学省は平成 24 年度より『健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業』【健常者と障害者スポーツ・レクリエーション活動に関する連携実践研究】の委託事業を行っており、当クラブは全国唯一、3 年間この事業を受託し、実施してきた。

その事業成果を基に、国は 27 年度より全国 20 の都道府県で障害者スポーツの推進体制を整備するための事業展開をしている。

我がクラブの活動が評価され、岡山県は国より直接のアプローチがなされたが、国の委託事業を申請するに至らなかった。

このような社会情勢の中で、1 クラブが大望を持って事業を推進していくことは非常に困難な道のりであることは明白である。クラブのボランティア活動には限界があり、行政の取り組みが重要となる。

クラブの活動は支援学校、施設、関係諸団体にクラブの活動実態を積極的に PR しながら地道に現在の活動を行っていくしかないが、こうした中で、大きな展開がなされるには、行政がバックアップし、徐々に行政がタッチしていくことができるようになった時であろう。

当クラブとして、近未来的希望はくらしき健康福祉プラザ体育館を 1 年前に利用申請ができる団体となり、7 月、8 月に 4 回程度、土・日が使用可能になることでより魅力的な活動が展開されると思われる。

また、『ハートフルスポーツの集い』の内容がより多くの市民に周知され、行政・関係機関・団体施設が障害者・高齢者のスポーツに取り組み、それらの人が健康で生きがいのある社会の実現を目指す萌芽となることを期待している。

## 団体の能力の活用

\* 団体の持つ能力や特色を, 課題の解決にどう活かしていきますか。

ニュースポーツ用具を 30 種目程度所有していること。(定価 1,2 千万円程度)  
クラブ員がボランティア活動を理解しており活動の対価である謝金を求めないこと。

高齢者が多く活動に制約があまりないこと。(平日の活動可)

専門資格者を育成していること。(資格者多数)

スタッフトレーニングが可能なこと。(勉強する意欲があること。)

財政基盤が確立されていること。(経営能力があること。)

以上の特色を生かして、いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも活動できる素地ができている。

### 他団体等との協力

\* 他団体等と協力して事業を行う場合は、その団体名や役割を記入してください。

岡山県社会福祉協議会(用具の借用、情報提供)、岡山県レクリエーション協会(イベント支援、情報提供、クラブ支援)、岡山県障害者スポーツ協会(イベント支援、受託事業、スタッフ教育)、岡山県障害者スポーツ指導者協議会(指導者派遣)、岡山県カローリング協会(用具借用、情報提供、指導者派遣)、岡山県体育協会(スタッフ教育、クラブ支援)、岡山県立倉敷琴浦高等支援学校(協働、情報提供)倉敷市立倉敷支援学校(イベント支援、協働)、倉敷市総合福祉事業団(イベント支援、クラブ支援、情報提供)、就労継続支援B型ぽけっと(協働)、老人保健施設藤戸荘(協働)、天城・茶屋町高齢者支援センター(スタッフ教育、用具の借用)、その他、他市町との協働、他クラブの支援など

### 行政との協働 自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名( スポーツ振興課 ) 主部署の同意( あり・なし )

その他の部署名( )

### 協働する部署との協議

10月20日(内容:事業説明・要望伝達・クラブの活動実態と用具の確認)

10月29日(内容:体育館使用日の確定(スポ振課)・細部の修正・合意)

月 日(内容: )

### 協働する部署の役割

活動施設の確保 (確保済み)

関係団体・機関・施設へのPR

市民へのPR

## 予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	27000	カローリング親善交流大会 500×54 人
会費からの繰入金	148,000	N P O 法人スポーツライフ'9 1 天城負担金
市補助金	215,000	
合 計	390,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	26,000	人件費 1000、交通費 270 1270×4 人×5 日 = 25400
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	15,000	1500×2 人×5 日 = 15000 (岡山県障害者スポーツ指導者協議会所属の指導者)
	謝 金		
	旅費交通費		
	消耗品費	178,000	(クリティ) リング 12960×2 = 25920 " センター棒 1575×2 = 3150 (テックスティック-ム) キウ 8100×2 = 16200 (スケット-ル) スティック 4320×2 = 8640 " ホール 1080×10 = 10800 ビブス(S) 1404×6 個×8 色 = 67392 3B 鉛筆(1ダ-ス)918×2 = 1836、賞状(100 枚)4819 カラ-用紙 4.12×5000 枚 = 20600、 カラ-模造紙(5 枚)567×10 = 5670、インカ-プリン(4 色)6530 光沢紙(100 枚)2851×2 = 5702
	印刷製本費	11,000	北-代(白黒)10×300 = 3000、(カラ-)50×150 = 7500
	通信運搬費	23,000	切手 92×30 = 2760 ほか
	保険料	9,000	30×50 人×6 日 = 9000
	使用料, 賃借料	25,000	軽 4 トラック借損料 5000×5 日 = 25000
	小 計	287,000	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費	90,000	人件費 1000×10 人×6 日 = 60000 賞品代 30000 (カローリング親善交流大会)
	食糧費	13,000	ポカリスエット 12181 (昨年実績)
	小 計	103,000	
	合 計	390,000	

(記入上の注意)

団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。  
実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。  
内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)  
事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。

**金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。**